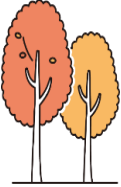




# ことば便り

墨田区立押上小学校  
校長 島田 和久  
ことばの教室 NO. 6  
TEL 03-3617-6925  
令和5年10月10日(火)



朝・夕にようやく秋を感じられるようになりました。暦ではとっぴりと秋になっているはずですが、今年は本当に異例続きの暑い夏でしたね。これから、少しずつ秋も深まってきます。澄み切った空と変化する雲、色とりどりの木々の風景など、秋を楽しみたいものです。

いよいよ後期の授業が始まります。季節外れのインフルエンザなど、体調を崩す子供たちも多いようです。健康に気をつけ、充実した学校生活が送れるようにしましょう。

## 10・11月の行事予定

- 2日～6日 保護者面談期間
- 3日(火) 都難言協江東ブロック研究会(午後)
- 6日(金) 前期終業式
- 9日(月) スポーツの日
- 10日(火) 後期始業式、  
都難言協専門研究会(午後)

10月

- 11日(水) 後期通級開始
- 14日(土) 押上小土曜公開授業
- 18日(水) グループ指導(吃音)(15時半～16時半)
- 20日(金) 押上小就学時健診 ※午後の通級はお休みです
- 28日(土) 押上小土曜公開授業
- 31日(火) 区小研〈通級学級〉 ※午後の通級はお休みです

お休みや指導の  
振り替えなどは  
担当者と相談を!



- 3日(金) 文化の日
- 7日(火) 都難言協江東ブロック研究会(午後) ※午後の指導はお休みです
- 14日(火) 区小研〈通級学級〉 ※午後の指導はお休みです
- 15日(水) グループ指導(吃音)(15時半～16時半)

11月

- 17日(金) 押上小展覧会(児童鑑賞)
- 19日(土) 押上小展覧会(保護者鑑賞日)
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 24日(金) 押上小学習発表会振替休業日 ※指導は全日お休みです
- 28日(火) 通級指導学級研究会(午後)



## ◇虫の音クイズ

秋の夜長、虫の声に耳を澄ましてみては? さて、どの虫の声かわかりますか?



コオロギ

キリギリス

スズムシ

ウマオイ

マツムシ

クツワムシ

ちんちろりん

すいーちゃん

りいーりいー

ころころりりり

ぎーちゃん

がちゃがちゃ

## 🌀 語想起！？

学習や生活においては、教科書を読んだり、物語の感想を述べたり、書いたり、先生の指示を聞いて行動したりすることなどで、言語力が求められます。

このような言語活動の基礎となるのが語彙の知識です。語彙知識が十分に育っていないことから、児童によっては以下のような言語面の特徴を示すことがあります。



- 自分から話したがらなかつたり、短い文で内容の乏しい発話になったりする。
- 言葉が出てくるまでに時間がかかり、簡単な言葉で表現したり、適切な語が思い出せず、代わりの表現を使ったりする（「定規」→「線を引くもの」）。
- 「いつも・昨日・毎日」といった時間に関する言葉の使い方に苦手さがある。
- 言葉の意味の境界線（手と腕の違いなど）があいまいである。
- 話のあらすじや文章の要点を読み取ることが難しい。

語彙知識を育てるためには、様々なアプローチがあります。その中の一つが「語想起の柔軟性を高める」ことです。

一般的に、語彙知識が豊富であることが望ましいと考えられますが、実際に話したり、書いたりするには場面に応じて、知識となった語彙をいかに的確に引き出すことができるかが「語想起」の力です。要するに、実用的な語彙の豊富さは、「語彙知識」と「語想起」によって支えられていると言えます。

この語想起を高めるために、キーワードに関連する言葉をできるだけたくさん想起したり（「『楽器』にはどんなものがありますか。できるだけたくさん挙げてください」）、指導の対象になった言葉を意味的なヒントから想起して復習したり（「ヒントを出すので、今日勉強した言葉を思い出して言ってください」）するなどの学習活動があります。ことばの教室でも、こうした活動をしながら語想起の柔軟性を高めながら、言語力の促進を図っています。

今回、語想起が遅いと、話す・書くことはもちろんのこと、読む・聞くことにも時間がかかるのだと実感する出来事がありました。高校2年から3年半ほどオーストラリアに留学したことがある当教室担当者が留学後は英語を定期的に使う機会が殆ど無いままでした。その後約20年振りに英語圏であるカナダに行くことになりました。日常会話で使う簡単な言葉もスラスラ出なくなっていて、もどかしい思いをしました。また、現地にある会社とあることで契約をしたり、契約を解除したりしないといけなかったのですが、専門的な言葉や難しい単語が出てくると、更に時間がかかりました。しかし、2週間滞在して、その契約のやりとりや、情報や文書を読んで確認する作業を長時間何日も繰り返すと、最後の5日間ぐらいは読む速度が速くなり、単語や文が頭に速く浮かび、スムーズに話すことができるようになっていました。第二言語ということで母語を話すこととは違いますが、語想起の柔軟性を高める練習はとても大切であると痛感しました。また、学習計画を立てる際には必然性のある学習活動にすることが大切だということも改めて学びました。そうしたことを意識して指導を行っていきたいと思います。

＜参考文献「アセスメントにもとづく 学齢期の言語発達支援」大伴潔・林安紀子・橋本創一＞

## 🌀 どんな言葉が浮かぶかな？

ひとつの言葉からいろいろな概念で言葉を拡げてみましょう！

